

あゆみ

特集
急性膵炎と慢性膵炎





新年のご挨拶



副院長
星野正美

明けましておめでとうございます。
昨年はコロナ、コロナに明け暮れた1年で息苦しかった感がぬぐえませんが、今年は寅年でどんな1年になるのかと陰陽で調べてみましたが、陰陽では今年は壬寅(みずのえ・とら)でその運気は誰でもよいことばかりが続くことはなく、悪いことも続くことはない。何事にも好奇心を持ってポジティブに進めば華々しい成果が期待できる年、とあります。コロナのおかげで何となく面白くない日々が続いている今日この頃ですが、疫学的にみてもそろそろ収束が見えてくる時期でもありますので皆さん今年1年ポジティブに頑張りましょう。



副院長
河野知典

明けましておめでとうございます。
2021年はコロナに始まりコロナに終わった年のように思います。コロナ感染者も激減してようやく安堵できると思いきやオミクロン株の出現、この文章を読んでいる頃にはコロナ禍はどのように変容しているのでしょうか？新しい年になり、新しい出来事が良くも悪くも次々と起こりうると思われますが、どんな事も粛々と受け入れ、前に向かって歩いていくのが私たちができる最善の選択ではないでしょうか。何はともあれ今年は穏やかに過ごしたいものです。



副院長
小池 荘介

明けましておめでとうございます。自粛と不自然な生活を強いられたコロナ禍の2年が過ぎ、精神的ストレスがたまり、体力的要素を含めて身体のバランスが崩れ、将来的な健康リスクにならないかと危惧される所です。今から日々のコンディションを整えておくことが重要と考えます。さて、このコロナ禍、私達は多くの教訓を学び、今までと違った価値観、ものの見方をすることを学んだのではないのでしょうか。新たな生き方のヒントを学べたことを糧にしながら、昨年果たせなかった思い・行動等をこの1年は一歩一歩進めていきたいと思ひます。今年もよろしくお願ひいたします。



事務部長
小路 真

明けましておめでとうございます。
人類を脅かしてきた感染症はペスト、天然痘、コレラ、結核、スペインかぜ、新型インフルエンザ、エイズ、SARS 等々多難な歴史があります。現代は、想定外のことが起きる不確実性・複雑性・曖昧性の「VUCA」の時代と言われております。
今後、重要なことは地球環境をこれ以上悪化させず、世界の国々が平和・共存の考えを真剣に議論するべきではないかと思ひます。昨年の東京オリンピック・パラリンピック、大谷翔平選手等日本人の大活躍には皆さんも勇気と感動をいただいたのではないかと思ひます。一流のアスリートは思考に柔軟性があり、チャレンジ精神が旺盛です。皆様に置かれましても、不確実性の時代こそ、失敗を恐れずチャレンジすることが重要ではないかと思ひます。本年もよろしくお願ひいたします。



看護部長
鈴木 洋子

明けましておめでとうございます。
昨年はコロナウイルス感染症との闘いで、現場においても私達の生活においても様々な制限を受け、日々模索しながら過ごした1年でした。感染防止対策や自己の健康管理を徹底しクラスターを起こすことなくケアを実践し、入院患者さんとご家族とのリモート面会、行事の継続など制限下でも患者さんの生活がより良いものとなるよう取り組んできました。コロナ感染症に負けない、皆さんの協力的体制と確実な実践力の成果だと思ひます。今年もコロナ感染症への対応が続く中、新しい年を迎えましたが、元気で笑顔を保ちつつ日々の医療・看護・介護を実践していきます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。



副院長
会田 北斗

皆様、今年1年も健康でありますように。私自身、健康維持のためのジョギングは継続しています。歩いているのか走っているのか分からないようなスピードですが、「1か月250キロ走る」という目標を立て、恥も外聞もなく、日々、倒れそうになりながら、四苦八苦しています。朝、大池公園を走っていると、後ろから軽快に走ってくるランナーに追い抜かれ、自分の体力の低下を思い知らされますが、それでも体を動かすのは気持ちの良いものです。体を動かせば、食事もおいしく、質の良い睡眠も摂れます。皆様も、ご自愛ください。

年頭のご挨拶

「前進、そして更に前進」



公益財団法人 会田病院
理事長 会田 征彦

明けましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルスが猛威をふるい、感染者数は世界で約2億7千万人、日本国内で約170万人、死者は約1万8千人でした(12月23日時点)。感染症との闘いは今後も長く続いていきますが、利便性を求めて密集地の都市部に住むことや経済優先の仕事や生活のあり方、更には地球温暖化対策を軽視するエネルギー政策に警鐘を鳴らしていると捉えて地上に生きる一人ひとりが地球環境や資源を大切にすることを配慮が必要と考えます。

このような中で私達の心に灯りをともしてくれたヒーローはアメリカ大リーグ、エンゼルスの大谷翔平選手です。100年前のベーブ・ルースの再来と称され、投手と打者の二刀流、更に俊足を生かして活躍し、満票でアメリカンリーグMVP(最優秀選手)に選ばれました。万人に愛される彼の魅力は野球ひとすじに打ち込む姿勢と人間性であると思ひます。

初代院長 会田道之助が明治38年に診療所を開設して116年、そして1946年(昭和21年)に東北初の民間による肺結核外科療法専門病院を開設以来、多くの先人達の努力の積み重ねに加え、地域の人達に支えられて77年目を迎えた今日の姿がある事に心から感謝申し上げます。開設者が掲げ灯した全人的医療の信念を守り、病に苦しみ救いを求める人々の心に寄り添う診療を継続することで培うことの出来た地域に於ける信頼は、何より価値のある私達の財産であり、これからも更にこれを育てながら、期待される病院づくりに専心努力することが求められております。

公益財団法人 会田病院の基本理念である「患者満足度の高い良質な医療を安全に提供できる病院づくりに努め、地域社会に貢献する」ために、今年目標を次に示します。

1. 良質な医療を安全に効率よく提供できる体制の確立

- ・ 医師、コメディカルをはじめ、全職員の資質向上と教育・指導の徹底
- ・ わかり易い診療録作成
- ・ 地域包括ケアシステム推進のための病病・病診連携充実
- ・ 在宅医療の充実(訪問診療、訪問看護、訪問リハビリ体制の充実)

2. チームアイダー一人ひとりの人間力向上対策

- ・ 社会人としての礼儀・マナーを学び、感謝の気持ちを表現できる人を目指す
- ・ 傾聴する力を培い、謙虚で感謝の心を持つ人(心豊かな人間性)
- ・ 同僚への思いやりといたわりの心を養う
- ・ 状況判断のできるスキルを養う
- ・ 人から愛される人間性向上に努める

3. 経営基盤の確立

- ・ 働きやすい環境整備
- ・ 職員満足度向上対策
- ・ 医療機関における働き方改革の確立
- ・ 有能な常勤医師確保
- ・ 診療科の検討及び合理化
- ・ 将来構想検討

4. 病院内各部門の横断的連携強化によるチーム医療の推進

- ・ 健診センター体制整備
- ・ 透析センター体制整備

5. 災害に強い体制整備

トップを極めたアスリートから学ぶ事は数多くありますが、共通している基本的な項目は

1. 常に謙虚であれば日々学ぶ事が出来る。
2. 周囲に感謝する事を忘れずに目標に向かって努力し続ければ夢はかなえられる。

信頼される確かな医療を行うには、職員一人ひとりの資質向上と、各部門のリーダーを中心とした強いチーム力が欠かすことの出来ない二大要素です。

医療にたずさわる人に求められる心構えは医の原点を見据え研鑽を積んで医学的基礎知識を学び、常に謙虚で感謝の気持ちを忘れることなく、人の為になる事を仕事としている日々の姿に誇りを持ち続ける必要があります。

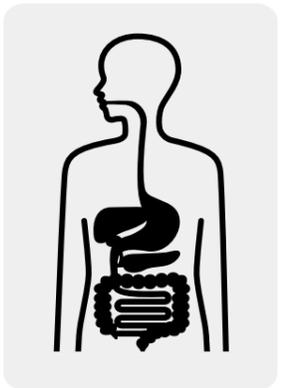
深い悲しみや苦しみを抱えている人に対して、医師をはじめ病院スタッフが、わが親兄弟を思いやるような気持ちで接することで医療人としての品格を磨き、それぞれの役割と責任を果たしながら日々の業務を実施していけば、明るく人々に愛される病院の未来は、約束されると確信いたします。

特集 急性膵炎と慢性膵炎



消化器内科 本間 俊裕 医師
 診察日・受付時間
 火曜 / 13:00 ~ 16:30
 木曜・土曜 / 8:00 ~ 11:30
 ※木曜日 1 回休診

膵臓って？



膵臓は胃の後ろ、背骨の前にあり、十二指腸に繋がっている内蔵です。膵臓には内分泌機能と外分泌機能と呼ばれる、体にとって2つの重要な働きがあります。

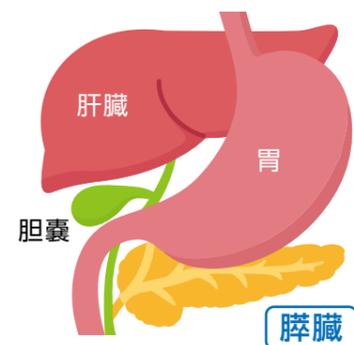
内分泌機能とはインスリンやグルカゴンと呼ばれるホルモンを産生する機能のことで、糖代謝を担っています。膵内分泌機能が衰えると糖代謝異常が起こり、糖尿病を発症します。

一方外分泌機能とは、食物を消化するための膵液という液体を分泌する機能のことで、膵液には食

物の消化を助ける消化酵素が多く含まれており、代表的な消化酵素としてはアミラーゼやリパーゼ、トリプシンというものがあります。膵外分泌機能が衰えると食物の消化や吸収が十分にできなくなります。

膵臓の役割

- 内分泌**
血糖値を調整するホルモンを産出する
- 外分泌**
食物を消化するための膵液という液体を分泌する



急性膵炎とは？

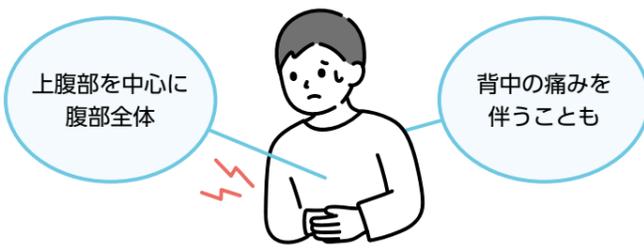
膵臓は食事の刺激に応じて消化酵素を十二指腸に分泌し、消化酵素は十二指腸に分泌されて初めて活性化されます。そのため、消化酵素が膵臓に貯蔵されている状態では、自分の体を消化したりすることは起こりません。急性膵炎とは、何らかの原因によって膵臓の消化酵素が膵臓内で活性化してしまい、膵臓自体や周囲の組織を消化してしまつてお腹の中に強い炎症反応を引き起こす病気です。

原因としては、アルコールの過剰摂取や総胆管結石、特発性や薬剤性、外傷性、医原性、自己免疫性、高脂血症に伴うものがあります。急性膵炎になる人は比較的男性に多い傾向がありますが、年齢・性別に関係なく誰にでも発症する可能性のある病気です。

症状

一番多く認められる症状はとても強い腹痛であり、約90%の方に認められます。次に多く認められる症状としては悪心・嘔吐が約20%程度認められます。

多量飲酒や暴飲暴食後に腹痛が発症した場合は急性膵炎を疑う必要性があります



診断および治療

急性膵炎が疑われる場合は、まず血液検査と腹部超音波検査や腹部CT検査などの画像検査を行います。

急性膵炎が疑われる場合に行う検査	
血液検査	膵臓から分泌される消化酵素の上昇の確認
腹部超音波検査や腹部CT検査など	膵臓が腫大していないか、周囲に炎症がないか

膵炎の原因や重症度などによってはさらにいくつかの検査を行います。

急性膵炎と診断された場合は、重症化している方は命に関わる可能性があります。軽症の方は1〜2週間で改善し、後遺症が残ることは少ないですが、重症化した場合は集中治療室での人工呼吸器管理や血液透析などの治療が必

要となることもあり、治療期間は数ヶ月に及ぶこともあります。なかでも壊死性膵炎や感染性膵壊死といった、膵臓やその周囲組織に壊死を起こして感染を伴った場合、非常に治療に難渋します。重症急性膵炎の致死率は約10%と極めて高い数値となります。

治療の中心は大量の点滴になります。膵炎の炎症が全身に及ぶことで、血管内を循環する水分の減少(血管透過性亢進による血管内脱水)が生じ、ひいては臓器障害を来たすため、通常よりも大量の点滴が必要となります。

1日の点滴量

急性膵炎	入院を要する胃腸炎など
1日4000~5000ml程度	1日1500~2000ml程度



※年齢や性別、体格によって異なります。



行事食紹介

勤労感謝の日

お品書き

- ・オムカレー
- ・盛り合わせサラダ
- ・フルーツ(ぶどう・りんご)

写真は1日あたり1800kcal 献立内容となっております。

勤労感謝の日の行事食としてオムレツとカレーを組み合わせた「オムカレー」を提供しました。勤労感謝の日は「勤労を尊び、生産を祝い、国民たがいに感謝し合う日」とされており、普段当たり前のように口にしている食物に感謝する日でもあります。感謝と労いの気持ちを込めて使用する「お疲れ（オツカレ）」という言葉に洒落を利かせて「オムカレー」を提供し、その話題で患者さんに楽しんでいただきました。当院で初めて提供するオムカレーは、「オムレツとカレーがついて豪華ね。」「見た目もきれい。辛さも丁度よくておいしいよ。」と大好評でした。

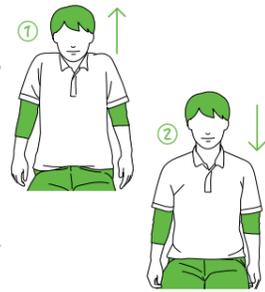
1日5分、身体喜ぶ贅沢タイム

肩関節のストレッチ

寒い冬の季節では身体を縮こませやすくなってしまいます。肩こりの症状が増えてきます。今回は肩こりの予防、改善にも効く肩関節のストレッチを紹介します。その場で簡単に出来るものなのでストレッチをして寒い冬を乗り越えましょう。

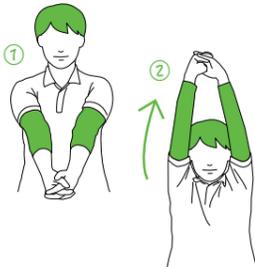
座ってできる肩関節のストレッチ

- ①両方の肩を耳に近づけるよう上にすくめします。その状態を3~5秒ほど保ちます。
 - ②保った後、ストンと下に降ろします。
- ※回数としては3回×1~2セット行います。
※痛みや肩の可動域に合わせながら実施しましょう



寝ながら・座りながらできる肩関節のストレッチ

- ①身体の前で図のように両手を組みます。
 - ②組んだ両手を頭の上へ向けてあげます。
 - ③上まで上げたらゆっくりおろします。
- ※回数としては10回×1~2セット行います。
※痛みや肩の可動域に合わせながら実施しましょう



理学療法士

慢性膵炎とは？

慢性膵炎とは膵臓に慢性的な刺激(炎症)が起こることにより、膵臓が徐々に萎縮していく病気です。膵臓が小さく・固くなっていったまうことにより、内・外分泌機能が荒廃してしまいます。原因としては最も多いものはアルコールの過剰摂取であり、他にも遺伝的な影響や原因不明の特発性などがあります。慢性膵炎は現在の医療では治すことができず、膵がんの発症リスクが7~11倍に上昇したり、寿命も平均より10年ほど短くなるといわれたりと、とても質の悪い病気の一つです。

症状

慢性膵炎の主な症状としては腹痛が挙げられます。まれに痛みのな

い患者さんもありますが、約80%の方に腹痛を認めます。痛みの程度は、急性膵炎の様に非常に強いものからごく弱いものまで様々です。

慢性膵炎は腹痛以外にも様々な症状が挙げられます



診断および治療

慢性膵炎が疑われる場合は、血液検査、腹部超音波検査、腹部のX線CT検査などを行います。

慢性膵炎が疑われる場合に行う検査

血液検査	膵酵素の異常の確認
腹部超音波検査や腹部のX線CT検査など	膵石などの特異的な所見をもとに診断

膵炎の原因や重症度などによってはさらにいくつかの検査を行います。

終わりに

急性膵炎・慢性膵炎には、「過度な飲酒が原因」という点が共通しています。適度な飲酒は生活を豊かにすることもありますが、過度な飲酒が原因で体を壊し、場合によっては命に関わる可能性があります。新型コロナウイルスの蔓延により外食の機会は減ったかと思いますが、その代わり自宅でお酒を飲む機会が増えた方も多いのではないのでしょうか。最近の市販のアルコール飲料は、飲みやすいのにアルコール度数の高いものがあり、デザインもおしゃれなため自覚のないうちに多量のアルコールを摂取している場合があります。社会問題にもなっています。今回の特集が、ご自身の飲酒量を見直すきっかけになれば幸いです。病気のことでも不明な点や心配な点があれば、いつでもご相談ください。

クリスマス会

会場にはトナカイと共にサンタさんも登場し、笑いをプレゼントしてくれました。この日の為に練習した病棟スタッフによるハンドベルも大成功!和やかな笑顔溢れるひと時になりました。



6病棟クリスマス会 (12月14日)



歌やゲームに皆さん楽しまれ、サンタさんの登場に盛り上がりました。患者さんと一緒に作ったお花のクリスマスツリーはとても綺麗に出来上がりました。



3病棟クリスマス会 (12月3日)

秋季自衛消防訓練

11月10日に6病棟で夜間に火災発生を想定した消防訓練を実施しました。災害時、患者さんの安全を確保するためには、スタッフの的確な対応が求められます。緊急時でも冷静に対応できるように、これからも訓練を行っていききたいと思います。



運動会

10月5日に6病棟で、秋の運動会を開催しました。「運動会といえばこれ!」ということで、玉入れと大玉転がしを行いました。皆さん大いに盛り上がり、楽しまれたようでした。



ご寄附をいただき、
ありがとうございました。

2021年10月 クオール株式会社 様
2021年11月 坂路 忠 伍 様

当法人の活動に対しご理解とご賛同をいただき、ご支援を賜りたく存じます。寄附金には、税法上の優遇措置が適用されます。

詳しくは、ホームページをご覧ください。

[ホームページ]

<http://aida-hp.or.jp/aboutus/donation/>



業務資質向上研究会

第5回目を迎えた「業務資質向上研究会」は、提出された55演題の中より5演題が選出されました。感染防止対策のため発表は動画を撮影し、各部署で視聴していただきました。

選出された発表者の方には、会田理事長より「少しずつ精度を上げて年々より良いものにしていくように」という言葉とともに記念品が授与されました。

今後も業務改善への取り組みを定着させ、患者サービス・各業務の資質向上に繋がるよう活動を継続していききたいと思います。



認知症サポーター養成講座



11月20日に認知症サポーター養成講座を行いました。会田病院は全職員が認知症サポーターになれるよう毎年養成講座を開催しています。

参加者の声

今回初めて参加して、「見守ること、声を掛けること」の大切さなど、とても勉強になりました。これからは認知症サポーターとして、少しでも力になれるよう心がけて行動していききたいと思います。



修了者にはオレンジリングが交付されます。

介護の日週間

厚生労働省では、「介護について理解と認識を深め、介護従事者、介護サービス利用者及び介護家族を支援するとともに、それらを取り巻く地域社会における支え合いや交流を促進する観点から、介護に関し国民へ啓発を実施するための日」として、「11月11日」を「介護の日」と定めています。今年で第6回目を迎えた当院では「介護の日週間」として、介護職の仕事内容を知ってもらおうと外来棟1階ロビーに日頃の活動内容のお知らせを掲示しました。



介護職募集中!

介護福祉士・ヘルパー・看護助手



無資格の方、経験がない方でも歓迎です!
まずはお気軽に、見学だけでもお越しになってみませんか?
ぜひ、お待ちしております。
……問い合わせ先……
(公益財団法人 会田病院 人事課)



連携機関探訪



よしだ みずほ
院長 吉田瑞穂先生



吉田医院

当院は、昭和45年に白河市年貢町にて吉田外科医院として外科・肛門科などの診療を開始しました。平成29年に外科の前院長「大先生」が引退し、現在は息子の副院長が新たに吉田医院として内科の診療を行っております。

「大先生」の在任中は皆様に大変お世話になりました。今年92歳になり、引退はしましたが、元気に散歩を楽しむ毎日を送っています。この場をお借りして御礼申し上げます。

当院の診療内容は、高血圧症、高脂血症、糖尿病などの管理、消化器では胃カメラ検査、腹部の超音波検査などを主に行っております。当院で手に余る病気では、心臓や消化器などの救急疾患、脳や呼吸器の精密検査など会田病院様にお世話になることが多いです。

当院の患者様は、前医院の時から長らく通っていらっしゃる患者様が多く、当院には最新の検査機器などはありませんが、何でも相談できる「皆さまの診療所」にするべく努力してまいります。よろしくお願いたします。

INFORMATION

診療科目	内科							
所在地	961-0903 福島県白河市年貢町2							
連絡先	TEL・FAX 0248-23-4033							
診療時間	月	火	水	木	金	土	日	
9:00~12:00	●	●	●	●	●	●	●	
14:30~18:00	●	●	●		●			



患者様の目線に立つて

生活習慣が影響する病が増加し、食生活の見直しが必要とされる現在において、病院の中での管理栄養士の仕事は厨房作業から病棟・外来へと変遷し、患者様の食生活に寄り添う存在へと変化していきま

た。
栄養指導と聞くと食事の制限や「〜してはいけない」といったマイナスイメージを受けがちかもしれませんが、どちらかというと患者様の食生活をお聞きしながら、医食同源。という言葉のもと、病気や治療における食事での意識を少しでも改善するきっかけ作りとして、情報提供や日常的に取り入れやすい内容の提案を心掛け、栄養指導を進めております。栄養指導より、食生活の改善点について患者様と共に考え、実践していただいた結果、データが改善し内服薬

栄養科 主任
管理栄養士 武田 歩

👤 スタッフ募集中

共に働くスタッフを募集しています。地域に根ざし、愛され、心が通う病院づくりに積極的に取り組み、地域社会に貢献したいと思っています。募集内容は当院ホームページをご覧ください。

【お問い合わせ】人事・経理課
【電話】0248-42-2121
【メールアドレス】ahp@aida-hp.or.jp
【ホームページ】
<http://aida-hp.or.jp/recruit/>



が減った例、職場などの環境により食事管理がうまくいかず、栄養指導の場で、その都度改善へ向け話し合った例など様々ですが、やりがいある仕事と感じております。
「食事での不安、ちょっと知りたいーデータを良くしたい！」など、患者様のニーズに合わせて、お話しさせていただきますと思いますので、お気軽にお声掛けください。



会田病院の理念

かけがえのない、ひとり一人の命と健康を守るために、最良の医療を提供し、保健・医療・介護・福祉の充実をはかり、地域社会に貢献します。

公益財団法人

会田病院

理事長 会田 征彦

〒969-0213 福島県西白河郡矢吹町本町216番地

TEL 0248-42-2121

FAX 0248-42-2348 WEB aida-hp.or.jp



併設 健診センター

〒969-0213 福島県西白河郡矢吹町本町216番地
TEL 0248-42-3592 FAX 0248-42-2226

併設 すみれ訪問看護ステーション

〒969-0213 福島県西白河郡矢吹町本町198番地
TEL 0248-44-2566 (FAX兼)

併設 会田病院指定居宅療養管理指導事業所

〒969-0213 福島県西白河郡矢吹町本町198番地
TEL 0248-42-5407 (FAX兼)

併設 すみれ介護相談センター

〒969-0213 福島県西白河郡矢吹町本町198番地
TEL 0248-42-3755 FAX 0248-42-3781

併設 会田通所リハビリテーション

〒969-0213 福島県西白河郡矢吹町本町260番地
TEL 0248-42-2260 FAX 0248-42-2135



無料送迎バスのご案内

会田病院では、ご自宅と病院を無料でつなぐ送迎バスを運行しています。ご予約は下記までお気軽にお電話ください。

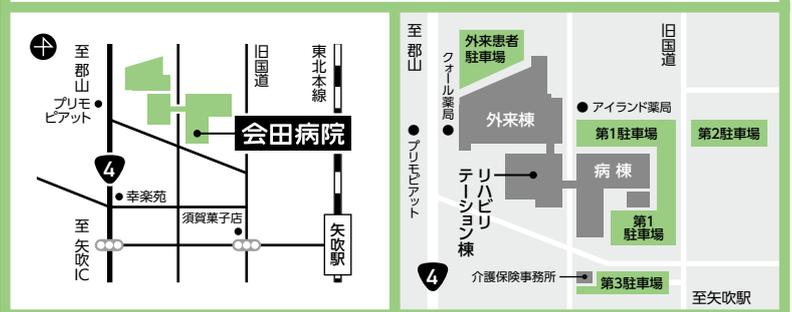
ご予約時間 月～金 13:00～16:30 | 土 9:00～12:00

ご予約はコチラ **0248-42-2142**

- 1 ご予約は送迎前日の午後4時30分までをお願いします。
- 2 乗車時間はご指定いただけません。



アクセスと駐車場のご案内



外来診療担当について

外来診療担当は、当院のホームページにてご確認いただくか、院内で配布している「外来診療担当のご案内」をご覧ください。

[ホームページ]
<http://aida-hp.or.jp/attending/>



ご意見ご感想を募集中です

「あゆり」に関するご意見、ご感想を募集しております。特集してほしい内容や改善ポイントなど内容は問いません。宛先は下記の通りです。

[宛先] 福島県西白河郡矢吹町本町216番地
公益財団法人会田病院 広報編集委員会
[メールアドレス] ahp@aida-hp.or.jp



当院は公益財団法人日本医療機能評価機構による「病院機能評価」審査の結果、機構が定める認定基準に達成していることが認められ、2017年3月3日付けで機能種別版評価項目 3rdG:Ver.1.1 の認定を受けました。

[発行] 公益財団法人会田病院
[編集] 広報編集委員会
[発行日] 2022年1月15日